

Special Exhibition

Learning from History — ASAKURA's Lectures on Life

歴史に学ぶ

朝倉先生いのちの講義



◆開催概要

【展覧会名】特別展「歴史に学ぶ～朝倉先生いのちの講義～」

【場 所】台東区立朝倉彫塑館

【会 期】2021年9月11日(土)～12月12日(日)

【開館時間】9時30分～16時30分(入館は16時まで)

【休 館 日】月曜日・木曜日、9月21日、24日(祝休日は開館)

【入 館 料】一般500円／小・中・高校生250円

【主 催】公益財団法人 台東区芸術文化財団

※内容・会期等に変更が生じる場合があります

◆展覧会趣旨

コロナウィルス、急速な気候変動、エネルギー問題、環境問題などによって、私たちの暮らしは大きな変化が求められています。これまで当たり前だったことがそうでなくなること、身近な存在や生活に欠かせないものを突然失うことは、いつ、だれの身にふりかかってもおかしくありません。このような問題に直面する今、私たちは歴史から学ぶことができるはずです。先人たちは過去の天災や戦争で同様の経験をしています。彫刻家 朝倉文夫もそのひとりでした。関東大震災や戦争を経た朝倉が「生きること」に対し、どのように行動し、制作に向き合ったのかを見つめ直します。当館所蔵作品から幅広く、「いのち」(生き方・生活・生命)について考え、歴史から現代を生きるヒントを探ります。



②



③



④



⑤

◆関連イベント

1. いまをのこすワークショップ

内容：ブロンズ粘土で自分の手をかたちづくりします

日時：11月3日（水・祝） 10：30～、14：00～（2回制、各回60分程度）

講師：藤田百合氏（エドゥケーター、女子美術大学特命助教）

対象：小学生以上 事前申込制（ウェブサイトをご確認ください）

定員：各回6名 / 参加費：500円（別途入館料が必要です）

2. おもいをのこす みんなのひろば

内容：展示を見て感じたことや考えたことを書き残します

対象：入館者 / 参加費：無料

3. ギャラリートーク：台東CATVの協力を得て、学芸員による展示解説をYoutubeで公開予定です

◆新型コロナウイルス感染拡大防止（COVID-19）に関するお願い

当館の新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みにつきましては、ウェブサイトをご確認ください。団体利用は当面の間中止とさせていただきます。大人数でのご来館は極力お控えください。

◆ご注意

安全確保および建物保全のため、靴下の着用をお願いいたします（※スリッパやルームシューズの利用はできません）。当館は個人の邸宅だったため、バリアフリーには対応していません。雨天、荒天時は屋上を閉鎖する可能性もございます。

◆展覧会・広報担当：朝倉彫塑館 戸張（とぼり）

本展をメディアでご紹介いただく際は、担当までご連絡いただくか、次頁の申込書を用いてお申込みください。



⑥



⑦



⑧

①展覧会チラシ ②朝倉彫塑塾教授風景 ③《若き日のかげ》1912年 ④《翼》1943年

⑤《九月の作》（破損）1910年 ⑥《親子猫》1935年 ⑦《竿忠の像》1938年 ⑧《よく獲たり》1946年

※作品はすべて朝倉文夫制作

朝倉彫塑館
ASAOKURA Museum of Sculpture, Taito

〒110-0001 東京都台東区谷中7-18-10

TEL:03-3821-4549/FAX:03-3821-5225

E-mail:asakura@taitocity.net



朝倉彫塑館WEBサイト

◆画像提供のご案内

特別展広報用画像をご提供いたします。

ご希望の方は申込書にご記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。

メールまたは画像送信サービスにてお送りいたしますので、メールアドレスを必ずご記入ください。

使用条件を必ずご確認ください

【使用条件】

- ※ 広報用画像のご使用は、本展の紹介に限らせていただきます
- ※ 作品写真の掲載には、作者名、作品名、制作年、所蔵を必ずご記載ください
- ※ 作品を部分的に切り取っての使用、ならびに文字や他のイメージを重ねることはご遠慮ください
- ※ 美術作品のため、レイアウトにご配慮ください
- ※ 情報確認のため、お手数ですが事前に校正用原稿等をお送りください
- ※ アーカイブのため、掲載誌（紙）、番組収録のDVDなどをお送りください

画像提供申込書

台東区立朝倉彫塑館 広報担当 行

FAX: 03-3821-5225

貴社名： _____ ご担当者名： _____

連絡先 E-mail： _____

連絡先 TEL： _____ FAX： _____

使用媒体（○で囲んでください）： _____ 新聞 _____ テレビ _____ 雑誌 _____ WEB _____

その他（ _____ ） ※企画書のご提出をお願いする場合があります

掲載紙・誌・番組名（予定コーナー）： _____

放送・発行予定日： _____

広報用画像データ（ご希望の画像番号を○で囲んでください）

(1)	展覧会チラシ	(2)	教授風景
(3)	朝倉文夫《若き日のかげ》1912年	(4)	朝倉文夫《翼》1943年
(5)	朝倉文夫《九月の作》(破損)1910年	(6)	朝倉文夫《親子猫》1935年
(7)	朝倉文夫《竿忠の像》1938年	(8)	朝倉文夫《よく獲たり》1946年